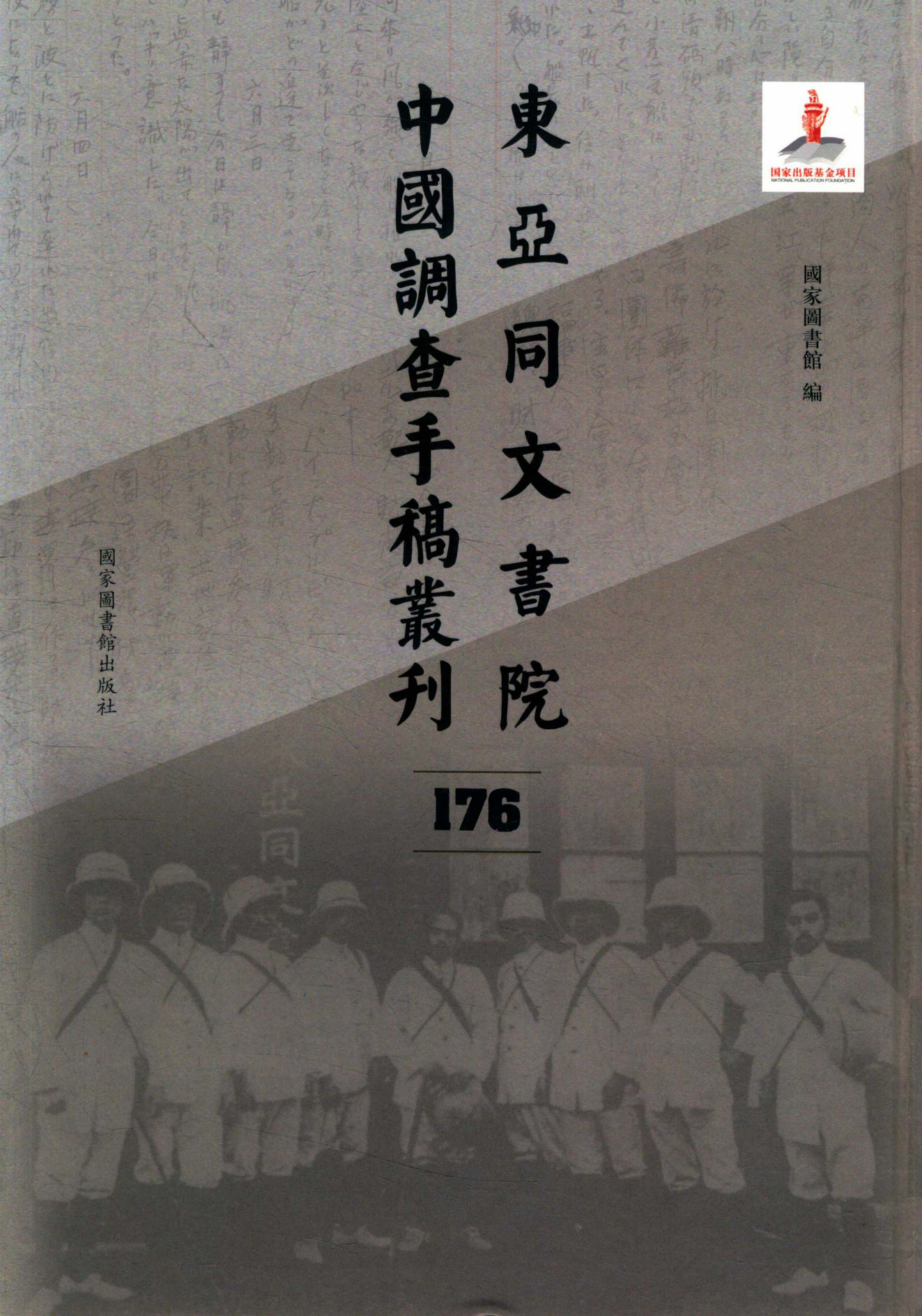


國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

176

國家圖書館出版社





國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

176

國家圖書館出版社

第一七六冊目錄

昭和十五年（一九四〇）調查報告（第三十七期生）

興亞政策に於ける在支日本人の發展狀況

在華日本人在興亞政策下的發展狀況 田坂豐

華中水電現況

華中水電現況 田原勢典

漢口市場を中心とする湖北省の棉花に就いて

以漢口市場爲中心的湖北省棉花情況 蘆澤實

支那事變と漢口の物資

中國事變與漢口の物資 中村文雄

一〇五

一九九

三一五

漢口に於ける商業調査

漢口的商業調査 淺野榮市

三九一

事變後の武漢三鎮を中心とした一般地理概況

事變之後以武漢三鎮爲中心的一般地理概況 竹内馨

四三七

中支に於ける國策會社に就いて

關於華中的國策會社 佐藤勇

五四五

武漢に於ける教育復興狀況

武漢的教育復興狀況 清水廣

六一五

昭和十五年度

興亞政策に於ける
在支日本人の發展狀況

長江流域調査第七班

田坂 豊

政治調査

戦時政策に於ける在支日本人の発展状況

一、序

今次聖戦の発出は明かに二の動機に制約せられて居る。
一は内包的なものであり、一は外延的なものであると
思はれる。世界最古の文明発祥地たる東亜が、自己の近
代史的行動を顧みること、欧米物質文明の魔力に魅せら
れ、在外國依存的隋性と資本主義的独占的諸國家の侵略、
分割、傑作以外の何物も残らない。日支兩門は斯かる

史的環境に於て、政治的に、外交的に、経済的に、或は
 帝に主義的侵略國家の餌食にしかならない相互的排他性
 を醸し、悲慘なる相剋箱巻を繰り展げ收めざるを
 得ず、而も其の運命たるや、自滅の一路を辿るのみにし
 て、茲に自己反省的及び東亞自主自立の体制の必然性
 性に於ける新秩序建設の理念が全体的な要求として創
 作されたりである。
 新秩序とは世界的秩序即ち思想的發展段階に適合す
 ると同時に、共榮の生存圈確立に對する東亞民族の認識的
 實踐から出発せしめねばならない。故に政策作成者か一の

新しい規格を發表して、その他に民族的意志と步調のなけ
れば、事變處理といふ目的を完徹すべし、何等の展開を
も見出すことが不可能なる。
しかしながら、此処に注意すべきは、事變處理なる表現は
飽くまで現象的に限定するものにして、換言すれば、段
階的政策に具体化されるものなることは看過せざるなり。
而して日本の討支根本政策が支那従前の非臣細臣主義的
容共抗日的分子を排除するを以て日本の要求する新事
態なりと逆睹することは許されない。其処には、其容共策
の道義精神より出發したる日本の全体主義に依つて、且

府 に 属 す る も の な り し と の 支 持 な る 政 府 の 証 明 は な ら	一 ト マ シ の 説 の 如 き 新 政 府 は 中 に 政 府 は な く 同 中 の 政	想 像 も さ れ た い レ、 知 る べ く も な い か、 然 し 之 を 以 て ヒ	新 政 取 は 芳 し 日 本 の 援 助 が な か つ た と す れ ば、 そ れ は	主 的 認 識 の 下 に 反 共 和 平 を 實 踐 し つ つ あ る。	左 の を 斯 か る 地 盤 に 始 め て 成 立 し た。 即 ち 支 那 は 自	史 政 取 が 旧 都 南 京 に 新 し き 輝 か し き 政 治 的 発 展 を な し 得	立 と い ふ 問 題 に は 抵 觸 し な い。 汪 精 衛 を 中 心 と す る 新 中	い る の で あ る。 故 に 今 事 変 は 何 等 自 主 的 独 立 的 國 家 の 存	本 に の 共 同 原 理 に 進 み 得 る 新 支 那 の 發 展 が 約 束 せ て れ て
--	--	---	--	--	---	---	---	---	---

5-

在い。	之は該政府成立の特殊事情に依るものにして、而	も一時的とも云へるのがある。	新秩序圈内に於て、中國は、支那民族主義と對アジア	主義は並立するニシテ、アジア主義を有ししニ對する民族	主義なるニシテを以て其の指標となしを有する。茲に日本及	新政府の共同原理、共同綱領がある。アジア民族の結合	加一義的であり、結合が相互信頼の所産であるとする	れば、日本は利益を得、それは幸福になるし事は實現	し得ると云はなければならぬ。	ニ、我が東亞政策の政治的發展
-----	------------------------	----------------	--------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------	----------------

甲. 日本側の新発展	乙. 興亜院の連絡機関として中支北支に在華中聯絡部華北	聯絡部を現地に設置するや日本の支那に對する政治的活	動はより活潑に發展しつゝある。在支日本人の文化的経	済的政治的中枢機關として又流動的統一性を以て家即ち政	府の代辦者の立場より毎へつゝ現地と政府の密接なる連	絡的意圖の下に各地に於ては出張所を設け政策遂行上	のエネルギーを政府に提供してゐる。	丙. 漢江は作戰上第一線地域を構成する故統一的政策見地	から九項南冒を企て湖北省一帯の占领地区に領事館又
------------	-----------------------------	---------------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------------	-------------------	-----------------------------	--------------------------

は	そ	の	出張所を施設し漢に總領事館の監督管轄区域を	完	備せしめ一方	救済の発展により此の方面の管領地区	の	拡大と共に漢に總領事館管轄区域はより擴充する漸進	性	を	有	し	て	い	る。	三、宣傳宣撫工作は漢に漢陽武昌の各補都郵署班分室を	し	て	當	ら	し	ぬ難民の收容救済安民詔の発給職紹介の實施	に	依	り	民	心	の	安	定	生	業	の	回	復	を	促	り	て	あ	る。	ハ	漢	に	都	市	着々	實	行	を	つ	つ	あ	る	も	創	に	在	支	那	植	民	政	策	に	對	抗	し	て	の	實	行	を	つ	つ	あ	る	も	創	に	在	支	那	植	民	政	策	に	對	抗	し	て
---	---	---	-----------------------	---	--------	-------------------	---	--------------------------	---	---	---	---	---	---	----	---------------------------	---	---	---	---	---	----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ものである。

故に亦此に依るより民衆の生活向上は期し得ざるも帝に

(日本)の子供工部に依れば平和且健康裡に彼等の安寧なる

生活安んずる期し得らるる認識の基礎を築きあげられんが

なり。依り十一月十日(千九百二十一年)より活動に依り居住民の保

護指導及難民救済事業として左記の通を極す。

一 市民証の發給

二 難民救済事業所の設置

三 武備治安維持会の設置と恩援

四 難民職業紹介所の設置

7									
只武昌分室費難區域一般の状況									
七ヶ所の集團的難民救済收容所其の中五ヶ所は所謂外に									
救済内									
諸施設									
一難民救済事務所設置									
二難民区職業紹介所設置									
三難民区蔬菜市場開設									
四米塩等賣交換所設置									
五難民区自給園設立									
六難民区就労塾開設									

12

し隊伍を他々平中を満ちし割へ親民に之へ買物ト行く名目
 の下に密偵を数々種々なる要宣傳を奔走しむる等言語
 断の行動と云ふべく、斯くの如き行為の手段より判断す
 る時ト或は市内各地の旅次配人等寧ろ彼等の故に難民中
 々ありと疑はざるを得ない。
 之に依りて之を現実は納金は普通の手段に付何ヶ月に
 つた軍の意図に鑑みて難民に之へ物販する夫のことは絶対に
 不可能なりと確信して已むないものがある。
 〇事業の為農作物栽培したる地あり。此際農産物更生策
 として第一に種子を以て農村に普及の採取を奨励すると